

～よくあるご質問～

Q1：今年度は、会場でのポスター掲示はありますか？

2020年度は会場でのポスター掲示は行いません。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況で、感染拡大防止の観点からオンライン上での交流のみとします。

Q2：オンライン上での交流の特徴はありますか？

移動中や空き時間にアクセスするなど、場所や時間を問わず簡単に交流できます。スマートフォンからのアクセスも想定し、交流サイトも改修しました。また、集中交流期間を設けていますので、ぜひこの期間に積極的なコメントをお願いします。

Q3：前回（2019年度）から変わった点はありますか？

より交流が活性化するように「私の研究（関心事）はこんな感じ」など、3つの設問の内容を見直しました。また、「関心事をよく伝える画像1枚」や「タイトル」も登録してもらうなど、よりお互いの関心を引くよう工夫しました。

Q4：研究者ではありませんが、参加できますか？

参加可能です。東広島100人論文のねらいである「異なる視点との対話から、研究や事業の可能性をひろげる」という目的に沿った動機であれば、企業や行政、地域団体等の参加も歓迎いたします。

Q5：組織として参加する事はできますか？

参加可能です。個人とは異なる視点の研究・事業紹介やコメントは、交流がより活性化する一つのきっかけになると期待しております。

ただし、コメント責任者を設定するなど、組織として責任が持てる範囲を確認しながら、交流を進めていただく点をお願いいたします。

Q6：職場や居住地が東広島市内ではありませんが、参加する事はできますか？

参加可能です。広島県内からの参加はもちろん、全国・世界から参加いただき、新たな可能性をひらく対話が一つでも多く生まれる事を期待します。

Q7：コメントしたアイデア等の著作権などの権利はどのように考えていますか？

全てのコメント内容は、東広島100人論文の参加者であれば閲覧する事ができます。不特定多数の目に触れる事を避けたい内容・アイデアについては、相手と連絡先を交換した上で対話を続けていただく事となります。匿名での対話にとどまらず、お互いに連絡先を

交換し、より活発な交流に発展することを期待しています。

Q8：短期的な課題解決先を探しているのですが、見つかるでしょうか？

課題解決の糸口になるコメントを得られる場合もあります。今回の企画では、お互いの研究内容や関心事を持ち寄り、対話を生み出す事で新たな可能性を開いていく事を期待しておりますので、課題解決後も中長期的な交流関係を構築していただければ幸いです。

Q9：100人論文をきっかけとして対話が進み、新たな研究・事業企画を進めたいのですが、何かサポートはありますか？

100人論文をきっかけとして、新たなアイデアや企画が生まれ、研究や事業を進めていただくことは大歓迎です。研究・事業計画によって様々な支援制度の紹介やサポートをできると考えますので、お気軽に事務局までお問い合わせください。

なお、事務局では、交流をさらに進めるためのイベント等も計画しておりますので、ぜひご参加ください。